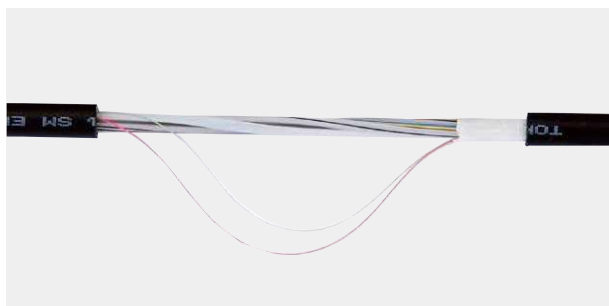


テープスロット型光ファイバエコケーブル



概要

4心テープ心線をスロットに収納したケーブルです。

特長

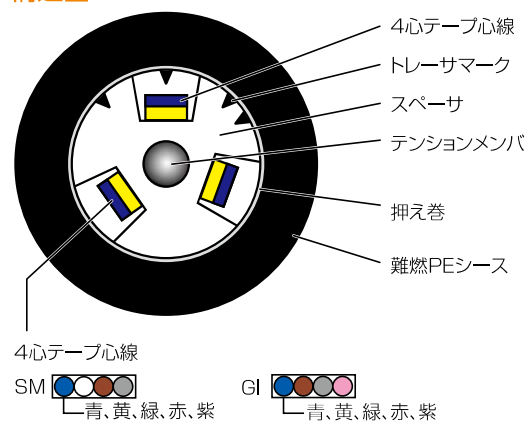
- ・4心テープ心線を使用したケーブルです。
- ・SZ燃り構造の為、中間後分岐が容易です。
- ・シース材には環境に優しい、ハロゲンフリーの難燃PEを採用しています。
- ・難燃特性は垂直トレイ (JIS C 3521) を満たしています。

型名表示例

EM - FT4SZ - SM15W - □□ - WB - MTE - FR

- ①：テープスロット型ケーブル ③：心数
②：光ファイバ型名 ④：吸水テープ巻メタリック難燃PEシース

構造図



仕様

品名	ファイバ 種別	心数	仕上外径 (mm)	概算質量 (kg/km)	許容張力 (N)以下	許容曲げ半径 (mm)以上
EM-FT4SZ - ** - □□ -WB-MTE - FR **：ファイバ種別 □□：心線	SM15W	4	10	95	900	100
		8				
		12				
		16				
		24	11	120	1,180	110
		36				
		48	11.5	120	1,180	115
		60				
		100	14	180	1,850	140
	G50	4	10	95	900	100
		8				
		12				
		16				
		24	11.5	120	1,180	115
		36				
	10G50	8	10	95	900	100
		16				
		24				
	10G50 (550)	8	10	95	900	100
		16				
		24				

※ これ以外の心数、仕様も対応致します。別途お問合せください。

LAP型とWB-MTE型の違いについて

1.はじめに

本資料はLAP型とWB-MTE型の2種類のケーブル構造の違いについて説明するものである。

2.構造比較

図1に各構造の断面構造を示す。

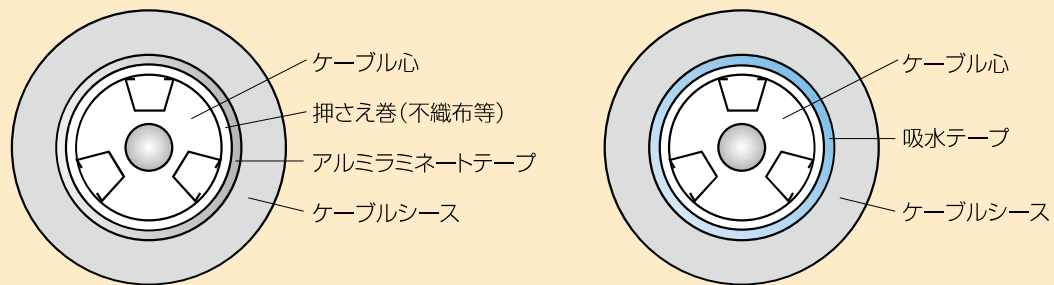


図1. ケーブル断面構造

- | | |
|-----|---|
| LAP | ▶ ケーブル心とシースの間にアルミラミネートテープを配し、耐透湿性に優れたケーブル。ケーブル構造に関係なく、遮水性能を発揮する。 |
| WB | ▶ ケーブル心の押え巻として吸水テープを使用したケーブル。シースに傷等が入りそこから水が浸入した場合でも、吸水テープ上に施されたポリマーが吸水しゲル化することにより、長手方向への水走りを抑える。 |

3.WB型の防水特性

図2に示す方法でケーブル端面より40mの位置のシース・押え巻を2.5cm剥ぎ取り、その部分を1mの水圧がかかるようにし、24時間経過しても、ケーブル端面露出部からの水の流出なき事を確認する。

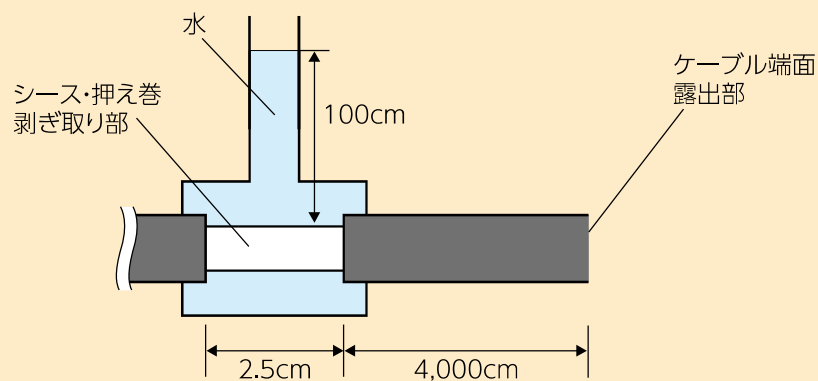


図2. 試験方法